

地域のみなさまへ

# 災害時等に要配慮者への

# 避難支援をお願いいたします

「自分も助かる・みんなも助かる」地域みんなで防災対策！



## □要配慮者とは？

「高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」  
(災害対策基本法第8条第2項第15号)

とされています。

災害発生時にひとりで避難することが難しかったり、避難所等での避難生活に支援や配慮が必要な方をいいます。

日本語に不慣れな外国人や妊産婦なども含まれます。



## □災害時に必要な支援ってなに？

・災害に関する正確な情報を伝える

・避難するときに介助をする

・安否確認をする

・避難生活を支える など

生きるために必要な手助けをすることが支援です。



## □誰が支援者になるの？

支援が必要な方に適切な支援をすることができる人は誰でも支援者になれます。

少しの気遣い、少しの勇気で、みんなが生きやすいまちを目指しませんか？

日頃から交流を図り、災害時に必要な支援について理解しておくことも大切です。

## □地域のみなさまにお願いしたいこと

支援者も災害時には被災者となる恐れがあります。まずは自分自身やご家族の安全を確保し余裕がある場合に出来る限りの支援をお願いいたします。

具体的な支援方法を裏面に示していますので参考にしてください。

## □支援を必要とする方やそのご家族のみなさまへ

日頃から地域の方々と積極的に交流し、避難時に支援が必要なことや支援方法について理解してもらいましょう。

地域の防災訓練に積極的に参加し、支援方法について地域の方と話し合う機会を作りましょう。



緊急情報が届く！

奈良市防災情報メール



スマホ用二次元  
コード

ガラケー用二次元  
コード

登録をお願いします！

お問合せ先  
奈良市福祉政策課  
TEL(0742)34-5196

# ■ 支援方法

要配慮者の特性はさまざまです。

まずは声をかけ、どのような支援が必要か確かめましょう。

急に声をかけると驚いてしまう場合がありますので、ゆっくりとした動きで視界に入り、目線を合わせて話しかけるなど、その方に合った支援をこころがけましょう。

ひとりで対応が難しいときはまわりの人に声をかけ、複数人で対応しましょう。

種別	支援の例
高齢者	<ul style="list-style-type: none"><li>・段差の上り下りの際は軽く腕を支える</li><li>・不安の中で同じことを繰り返す聞かれることがあるかもしれないが、ゆっくりとはっきりした声で丁寧に伝えるよう心掛ける</li></ul>
目が不自由な方	<ul style="list-style-type: none"><li>・誘導するときは半歩前に立ち、肘や肩をもってもらう</li><li>・「3 m先に10 cmほどの段差があります」など、まわりの様子を具体的に伝える</li></ul>
耳が不自由な方	<ul style="list-style-type: none"><li>・視界に入るようにゆっくりとその方の正面に行き、はっきりと話しかける</li><li>・手話、筆談、絵、ジェスチャー、身振り手振り、口の動きを読み取ってもらうなど、自分にでき相手に伝わる方法でコミュニケーションを取る</li></ul>
精神障害の方	<ul style="list-style-type: none"><li>・大きな声や指示的な言い方は不安を与えるので控える</li><li>・不安や動揺が激しい場合は可能な限り落ち着くまで見守る</li></ul>
知的障害の方	<ul style="list-style-type: none"><li>・ゆっくり具体的に短い文章で伝える</li><li>・言葉で通じない場合は、絵や写真を見みせたり、ジェスチャーを用いたりする</li></ul>
発達障害の方	<ul style="list-style-type: none"><li>・一度にたくさんのことを言わず、ひとつずつ伝える</li><li>・環境の変化でパニックになり大声を出したり走りだしたりすることもあるが押さえつけたりせず、可能な限り落ち着くまで見守る</li></ul>
手足が不自由な方	<ul style="list-style-type: none"><li>・緊急に移動が必要な場合は担架やシート等を用いて搬送する（複数人で対応する）</li><li>・体温調整が苦手な方もおられるので毛布を優先的に配布するなど、体調に配慮する</li></ul>
妊産婦	<ul style="list-style-type: none"><li>・流産の危険性を考慮し保温や健康状態に配慮する</li><li>・感染症対策、十分な水分補給、横になれる場所の確保などの配慮をする</li></ul>
乳幼児	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境の変化に敏感なため、落ち着けるよう優しく話かける</li><li>・水分補給、アレルギーの有無に配慮する</li><li>・不調を言葉で表現できないことを理解し体調の変化に注意する</li></ul>
外国人	<ul style="list-style-type: none"><li>・翻訳アプリを活用する</li><li>・身振り、手振りで話しかけ、今起きていることを伝える</li></ul>



ときには支援が必要ではないこともあります。

断られてもがっかりする必要はありません。

誰にでも優しくできる地域は、みんなが住みやすい地域でもあります。相手を思いやる気持ちを大切にして、地域みんなで地域防災力の向上を目指しましょう！